

令和8年度 ヒグマ対策

● 下川町の取組み

- ・ アニマルアラートによるヒグマ目撃情報の提供
- ・ 樹木の伐採への要望・実施
- ・ 捕獲用の箱罠を設置※
- ・ 見通しを良くするため、河川敷等の草刈りを実施※

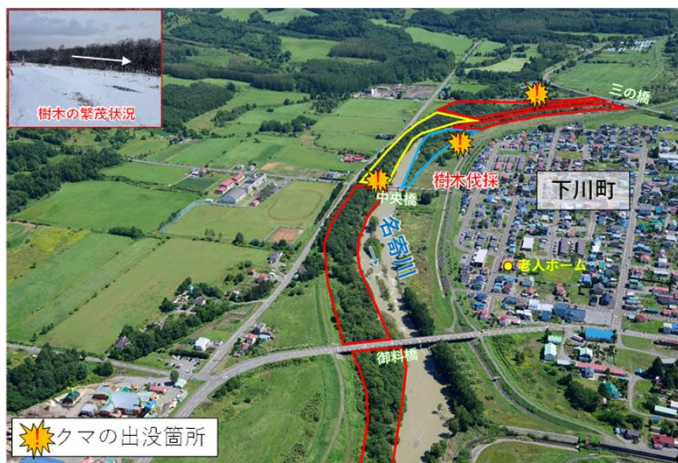
※は北海道開発局の占用協力



● 北海道開発局の取組み（国の取組み）

河川はヒグマが人の生活圏に侵入する移動ルートとなっていると指摘されています。名寄川では河川沿いにクマが出没しており、河川の利活用も盛んであることから、下川町、上川振興局等と連携し、河川におけるクマ出没防止のため、樹木伐採を実施します。また、関係機関が一体となってヒグマ被害防止対策に取り組んでいます。

- ・ 樹木の伐採方法：重機やチェーンソーなどで河川内の樹木を伐採
- ・ 期待される効果：河川敷の視認性の向上、クマの移動抑制および突発的な遭遇の低減等
- ・ 関係機関の連携：野生鳥獣対策連絡協議会等を通じたヒグマ出没防止対策の連携の構築



- 令和6年伐採箇所
- 令和7年伐採箇所
- 令和8年伐採箇所



R8.7.28
伐採完了

